

自主防災組織を知っていますか？

自主防災組織は災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織で、現在、町内には18地区と2つの住宅管理組合で自主防災組織が結成され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、自覚と地域の連帯感に基づき、自主的に活動が行われています。

自主防災組織の役割には、平常時及び非常時の活動がありま

す。平常時の活動の成果が、万一の非常時に生かされるように、日ごろから地域内の危険箇所の把握、防災資材の点検・整備や訓練を実施しておくことが大切で、大規模な災害が発生した際には、地域住民の共助による、安否確認、情報の収集・伝達、避難活動、被災者の救出・救助、初期消火活動といった防災活動を行います。



防災行政無線の放送を

メール配信!!

要ありません。

○パソコンから登録する場合

SCNホームページ「湘南生活安全情報 easy pocket」から利用登録してください。
<http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/>

○携帯から登録する場合

SCN携帯サイト「湘南生活安全情報 easy pocket」から利用登録してください。
<http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/k/>

※情報提供は無料です。ただし、メール受信にかかる通信料や登録、解除、閲覧時のインターネット接続費用は、ご負担いただきます。

※バーコード読み取り機能付き携帯電話では、左記のQRコードを読み取ることのできる「湘南生活安全情報 easy pocket」のページを簡単に表示することができます。



▲QRコード



○問い合わせ

危機管理対策室 ☎内線241

過去の災害による町の被害②

～関東大震災による町内の被害～

■死傷者数・家屋倒壊数

大磯町では、死者58名、負傷者184名、全壊数652戸、半壊数373戸でした。大磯警察署の『震災記録』によると、丘陵の裾にあった別荘等が倒壊しましたが、国道筋は被害が比較的少なく、その理由として、丘陵の裾は、水田を埋めて開墾した土地で地盤が弱かった一方、国道筋は地盤が岩層で強かったことを挙げています。

■全壊した官公署・学校

関東大震災では、大磯駅、大磯小学校、大磯郵便局、登記所(神明町)、女子敬業学舎(高麗)が全壊しました。ただし、当時、大磯駅の隣にあった町役場は大きな被害を受けていないため、建物の強度などに原因があったと考えられます。

また、地震によって、大磯駅から平塚駅へ向かう列車が、高麗山下の踏切付近で転覆し、事故の死者は8名でした。

■津波について

大磯警察署の『震災記録』によると、地震直後、潮流の震動による約6mの波が大磯海岸東部から平塚海岸にかけて襲い、その後、大干潮になったとあります。ただし、この引き潮は津波の前兆ではなく、海岸が隆起した結果によるものでした。現在の大磯高校付近の松林に船が引っかかった話や、花水川を水がさかのぼった話については、直後に襲った6mの波のことと考えられます。

◎問い合わせ ・郷土資料館 ☎(61)4700
・危機管理対策室 ☎内線241

▼配信情報

防災行政無線で放送した内容で、主な配信情報は次のとおりです。

○地震関連情報

震度(町内の震度5弱以上の地震)、津波に関する情報

○気象関連情報

気象警報(大雨、洪水など)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報など

○その他の情報

光化学スモッグ警報、振り込め詐欺多発情報、国民保護に関する情報など

▼登録方法

メール配信をご希望の方は、事前登録が必要です。登録に必要なものはメールアドレスだけで、氏名、住所などは必